

大学進学を控えた中高生の子どもを持つ保護者に向けて、進学指導のプロ・河合塾担当者と多彩な分野の専門家が、「受験」をキーワードに対談する「受験ママカレッジ」。第5回は、いよいよシリーズ最終回。コーチングのプロとして活躍中の藤原恵津子さんに、やる気アップのコーチング術を教えてくださいました。※文中敬称略。

河合塾 <http://www.kawai-juku.ac.jp/>

受験ママ  
カレッジ  
Vol.5  
～コーチング編～

## 伸びる力を育むために「信じて見守る」

「昔と今では、保護者にも変化が？」

満洲 「とりあえず大学に行って」という保護者が増えていると思いませんか。熱心な反面、安全志向に陥りがちな部分もあります。子どもと意識がズレているパターンもあります。

藤原 抱えている問題も違ってきています。

自己肯定感を得られることは、とても重要なことです。子どもは伸びていく力を持っているもの。信じて見守ることで、この伸びる力が育ってきますから。

タイプ別に納得の言葉かけを

子どもに対する有効な言葉かけや、指導法を知りたい保護者は多いと思います。

藤原 人は、自己主張と感情表出を軸に、大まかに4タイプに分けられるので、お子さんのタイプに合った指導法を実践するのも一案。自己主張が強く、自分の欲求を端的に伝えてくる「ゴントローラータイプ（リーダータイプ）」は、できるだけその子に任せて見守ることが大切。おだてる

とすぐに調子に乗る「ブロータータイプ」なら、ちょっとしたことでほめてあげましょう。協調性があり、穏やかな「サポータータイプ」のお子さんは、常に見守っているよという雰囲気を感じて作っていくことが大切です。あまり感情を表に出さない「アナライザータイプ」のお子さんの場合、客観的な事実についての内容や会話の方がいいかと思えます。

満洲 なるほど。私たち合つ中で、無意識にこれらのパターン別に指導している部分がありますね。保護者も、知識として知っておくと、子どもと良い関係をつくるヒントになりそう。



「勉強しなさい」と言うのがなくなるのは、わかっていても、つい口が出てしまうという保護者の方、多いんです」（満洲さん・左）。「明らかに機嫌が悪くなることを言い続けるなど、どんどんモチベーションが低くなるので、要注意」（藤原さん・右）

「昔と今では、保護者にも変化が？」

**入塾説明会 8月20日(土)・9月3日(土)開催**  
 ◇対象・内容 高校1～3年生と保護者。高校1・2年生(午後2時～)＝英語講師による学習ガイダンス「得意科目にする方法」(40分)、カリキュラム説明(最新入試情報含む/40分)▽高校3年生(午後4時～)＝英語講師による学習ガイダンス「センター攻略のキープポイント」(40分)、カリキュラム説明(最新入試情報含む/40分)  
 ◇会場・問い合わせ 大阪校 ☎0120-070471 ▽三宮現役館 ☎0120-070526 ※事前申し込み不要

**受験ママ検定をチェック**  
 保護者も役立ててほしいコーチングの極意は？ コーチング3カ条をはじめ、対談の全容はwebで確認できます。  
**▼アクセスはこちら**  
 えるこみ関西 河合塾   
<http://www.lcomi.ne.jp/a/110820jyukemama>

<今回のカレッジ講師>



河合塾三宮現役館  
 進学アドバイザー  
**満洲智子さん**  
 高校生、保護者へ向けて、進学のあらゆるサポートを実践



コーチ・フィオーレ代表  
**藤原恵津子さん**  
 米国NLP協会認定トレーナーとして、研修・セミナーで活躍